



～～ 一学期を振り返って ～～



一学期の終業の日を迎えて、皆さんは今どのような思いでいますか？これまでの自分を振り返ってみて、どれくらい反省すべき点がありますか？「全然ないよ」と言う人は恐らくいないでしょう。振り返り反省するという事は、自己の成長過程の中では必要なことであり、その反省を活かして軌道修正し、いかに次へのステップにつなげていくかによって、個々人のこれから先進むべき道(プラスへ向かうか？ マイナスへ向かうか？)が決まってきます。

『知覚動考』という四字熟語(造語)があります。この表現は県出身タレントのGACKTさんがどん底状態の時に出会い、這い上がるきっかけになった言葉だと言われており、四つの漢字をそのまま「チカグドウコウ」と読むではありません。その四文字には成功へ導くある行動パターンが隠されています。

まずは「知」で「知る」(知識を蓄える)ことから始め、「覚」でその知ったことを「覚え」、次の「動」では覚えたことを具現化する為に「行動」し、その結果によってどうすべきなのかを「考」え(反省)、次へのステップにつなげていくのです。「考」える(悩む)よりもまず先に「動」く(行動する)ということです。この一連の行動パターンから、この四字熟語を『トモ・カク・ウゴ・コウ』と読むのです。

人生はまさにこの「知覚動考」の繰り返しと言っても過言ではないでしょう。いろいろ余計なことを考える前にまず行動を！行動がなければ成功も失敗もなく、何の反省も出てきません。成功の裏には数多くの失敗がつきものです。失敗から多くのことを学び、あきらめず前を向いて挑戦し続けて行けば、その先にはきっと成功への扉があなたを迎えてくれるはずです。



-- 『鏡の法則』 --

『鏡の法則』という書籍がある。「私達個々人に現実にかき起こる出来事は一つの結果で、その結果には必ず原因があり、その原因は私達の心の中にある」というもので、『私達の人生の現実が私達の心の中を映し出した鏡である』という法則のことだ。

心の中で不満ばかり抱いていると、その心を映し出すように不満な出来事が現実にかき起こり、逆に、心の中にいつも感謝の念を抱いていると、さらに感謝に満ち溢れた出来事が起きてくる。「心の中の原因が、結果として現実化する」と言うことなのだ。

人生で起こるどんな問題も、何か大切なことを気づかせてくれるために、偶然ではなく必然的に起こっていて、自分で解決できない問題は決して起こらないという考え方である。人間である以上いろいろな悩みことは尽きない。しかし、それに立ち向かい乗り越えた後には、これまでとは違った自分自身の成長にきっと気づくはずだ。

…鏡の中の今の自分は、どのように見えますか？



～～ 時の言葉 ～～

「まず『出来る』って言う。

方法はそれからだ。」

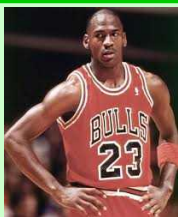


円谷 英二 (つばし 英二) (1901～1970)： 福島県出身で映画の特殊撮影監督。東宝に入社後、1954年に「ゴジラ」の特殊効果撮影で世界的な評価を得る。1963年円谷プロを設立し「ウルトラマン」等の特撮テレビ映画シリーズを製作放映し、怪獣ブームを巻き起こした。

～・ English Maxim (名言) ・～

"Everybody has talent,
but ability takes hard work."

「誰もが才能を持っている。
でも能力を得るには努力が必要だ。」



Michael Jordan (マイケル・ジョーダン)： 1963～ 米国ニューヨーク出身。元プロバスケットボール選手で、「バスケットボールの神様」とも称される人物。NBAの「ブルズ」等で活躍し、「エア」和称される長い滞空時間の豪快なダンクは有名。2009年にはバスケットボール殿堂入りした。

》 無事終了、親睦運動会 《《



「学年間の連携を深め協力することの大切さを学ぶ」を目的として開催された知高伝統の親睦運動会が先週末(15日)に開催され無事終了した。例年より遅く発生した台風1号後の天候が気がかりであったが、親睦日和の下で当初の目的が達成された大会となった。各団とも練習の成果が十分に発揮され、先輩後輩の絆が一層深まった最高のパフォーマンスであった。皆よくやった。ありがとう！

Yes, we did it! Good job!



親睦の後は長い夏休み。切り替えをしっかりと行い、メリハリをつけ意欲的に計画的に取り組もう！自己の第一志望進路実現のために！